

注1

大学番号：私立159

認可

[平成30年度 収容定員の総数の増加]

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

金沢学院大学

注2

収容定員に係る学則変更を行った大学の履行状況報告書

学校法人金沢学院大学

令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 サイムフサンジ 財務部参事 イシカワ 石川 アツシ 温

電話番号 076-229-8842

（夜間） 076-229-8842

F A X 076-229-1385

e-mail kikaku@kanazawa-gu.ac.jp

（注） 1 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

2 認可時から大学の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きに旧名称を記載してください。

例） ○○大学（旧名称：◇◇大学（平成◇◇年度より名称変更））

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
①文学部文学科	
②経営情報学部経営情報学科	
2. 既設大学等の状況	6
3. 附帯事項等に対する履行状況等	8

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人金沢学院大学

(2) 大学名

金沢学院大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒920-1392

石川県金沢市末町10の5番地の1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(アキヤマ ミノル) 秋山 稔 (平成29年1月)		
学長	(アキヤマ ミノル) 秋山 稔 (平成25年4月)		
学部長	(スイドウ ユキオ) 水洞 幸夫 (平成25年4月)		
学科長等	(スイドウ ユキオ) 水洞 幸夫 (平成27年4月)	(シトミ キワコ) 蒨 際子 (平成31年4月)	平成31年4月1日付で 学科長任期満了により変更(元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。
- ・対象学部等が複数の場合には、それぞれ記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人金沢学院大学

(2) 大学名

金沢学院大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒920-1392

石川県金沢市末町10の5番地の1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(アキヤマ ミノル) 秋山 稔 (平成29年1月)		
学長	(アキヤマ ミノル) 秋山 稔 (平成25年4月)		
学部長	(タカハシ ヒロシ) 高橋 啓 (平成30年4月)		
学科長等	(クワノ ヒロアキ) 桑野 裕昭 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。
- ・対象学部等が複数の場合には、それぞれ記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

調査対象学部等の 名称（学位）	設置時の計画								定員変更年度	備考	
	修業年限	入学定員		編入学定員		収容定員					
		変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後				
文学部 文学科 学士（文学）	4年	130人	150人	3年次 10人	3年次 10人	540人	620人	平成30			
区分	対象年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定 員超過率
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員		150 (10) [—]	150 (10) [—]	150 (10) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	1.20倍	—	
志願者数		562 (2) [—]	— (—) [—]	736 (1) [—]	— (—) [—]	954 (2) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]			
受験者数		549 (2) [—]	— (—) [—]	729 (1) [—]	— (—) [—]	936 (2) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]			
合格者数		470 (2) [—]	— (—) [—]	516 (1) [—]	— (—) [—]	534 (2) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]			
B 入学者数		170 (2) [—]	— (—) [—]	189 (1) [—]	— (—) [—]	182 (2) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A		1.13		1.26		1.21		—			

調査対象学部等の 名称（学位）	設置時の計画								定員変更年度	備考	
	修業年限	入学定員		編入学定員		収容定員					
		変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後				
文学部 文学科 日本文学専攻 学士（文学）	4年	40人	50人	3年次 5人	3年次 5人	170人	210人	平成30			
区分	対象年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定 員超過率
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員		50 (5) [—]	50 (5) [—]	50 (5) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	1.09倍	—	
志願者数		163 (1) [—]	— (—) [—]	244 (1) [—]	— (—) [—]	265 (1) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]			
受験者数		161 (1) [—]	— (—) [—]	243 (1) [—]	— (—) [—]	264 (1) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]			
合格者数		141 (1) [—]	— (—) [—]	157 (1) [—]	— (—) [—]	174 (1) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]			
B 入学者数		49 (1) [—]	— (—) [—]	58 (1) [—]	— (—) [—]	57 (1) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A		0.98		1.16		1.14		—			

調査対象学部等の 名称（学位）	設置時の計画								定員変更年度	備考	
	修業年限	入学定員		編入学定員		収容定員					
		変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後				
文学部 文学科 心理学専攻 学士（文学）	4年	20人	30人	—	—	80人	120人	平成30			
区分	対象年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定 員超過率
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	30人 (—) [—]	30人 (—) [—]	30人 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	1.33倍	—		
志願者数	150 (—) [—]	— (—) [—]	170 (—) [—]	— (—) [—]	249 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]				
受験者数	147 (—) [—]	— (—) [—]	168 (—) [—]	— (—) [—]	245 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]				
合格者数	118 (—) [—]	— (—) [—]	120 (—) [—]	— (—) [—]	156 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]				
B 入学者数	40 (—) [—]	— (—) [—]	35 (—) [—]	— (—) [—]	45 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]				
入学定員超過率 B/A	1.33		1.16		1.50		—				

調査対象学部等の 名称（学位）	設置時の計画								定員変更年度	備考	
	修業年限	入学定員		編入学定員		収容定員					
		変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後				
経営情報学部 経営情報学科 学士（経営学）	4年	160人	180人	3年次 10人	3年次 10人	660人	740人	平成30			
区分	対象年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定 員超過率
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	180人 (10) [—]	180人 (10) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	1.10倍	令和2年4月学 生募集停止 (令和2年4月 に経済学部及 び経営情報学 部を届出設 置) 令和4年4月か ら3年次編入学 生募集停止 (予定)		
志願者数	443 (2) [—]	— (—) [—]	553 (5) [—]	— (—) [—]	— (4) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]				
受験者数	429 (2) [—]	— (—) [—]	542 (5) [—]	— (—) [—]	— (4) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]				
合格者数	400 (2) [—]	— (—) [—]	439 (5) [—]	— (—) [—]	— (4) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]				
B 入学者数	182 (2) [—]	— (—) [—]	216 (4) [—]	— (—) [—]	— (4) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]				
入学定員超過率 B/A	1.01		1.20		—		—				

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科等、定員を定めている組織ごとに記入してください
(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位
(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表
を追加してください。
 - ・ 様式は、令和元年度定員変更の4年制の学科の場合ですが、変更年度・修業年限に合わせて
作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - ・ 認可後さらに定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで
記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和○年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
 - ・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ ()内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行って
いる場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には
「-」を記入してください。
 - ・ 転入学生は記入しないでください。
 - ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入して
ください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる
「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)
及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を
記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている
場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入して
ください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**して
ください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。
なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、
報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・ 対象学部等が複数の場合には、上記の表を学科ごとに作成してください。

2 既設大学等の状況

大学の名称	金沢学院大学											備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	入学定員超過率				平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	
					H29年度	H30年度	R元年度	R2年度				
	年	人	年次 人	人	倍	倍	倍	倍	倍	年度	年度	
文学部												
日本文学科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	昭和62	平成28年学生募集停止
国際文化学科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	昭和62	平成28年学生募集停止
歴史文化学科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成23	平成28年学生募集停止
文学科	4	150	3年次 10	620	1.28	1.13	1.26	1.21	1.22	平成30	平成27	定員変更(20)
日本文学専攻	4	50	(便宜上) (5)	210	1.47	0.98	1.16	1.14	1.18	平成30	平成27	定員変更(10)
英米文学専攻	4	30		120	0.43	0.63	1.03	0.70	0.69	-	平成27	
歴史学専攻	4	40	(便宜上) (5)	170	1.3	1.55	1.62	1.47	1.48	-	平成27	
心理学専攻	4	30		120	2.15	1.33	1.16	1.50	1.53	平成30	平成27	定員変更(10)
教育学科	4	70	3年次 5	290	-	0.49	0.89	1.27	0.88	令和2	平成30	定員変更(△30)
経営情報学部												
経営ビジネス学科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成18	平成28年学生募集停止
経営システム学科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成18	平成28年学生募集停止
経営情報学科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	平成30	平成28	令和2年学生募集停止
経済学部												
経済学科	4	80	3年次 5	330	-	-	-	1.00	1.00	-	令和2	
経営学科	4	60	3年次 5	250	-	-	-	1.28	1.28	-	令和2	
経済情報学部												
経済情報学科	4	70	-	280	-	-	-	1.12	1.12	-	令和2	
美術文化学部												
美術学科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成12	平成28年学生募集停止
メディアデザイン学科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成12	平成28年学生募集停止
芸術学部												
芸術学科	4	70	-	280	0.84	1.05	1.12	1.21	1.05	-	平成28	
人間健康学部												
スポーツ健康学科	4	120	3年次 10	500	1.03	1.10	1.27	1.47	1.21	平成29	平成23	定員変更(20)
健康栄養学科	4	80	3年次 5	330	0.83	0.95	0.96	1.00	0.93	-	平成28	

大学院経営情報学研究科												
経営情報学専攻 (博士前期課程)	2	10	-	20	-	-	0.50	0.50	0.50	-	平成11	
経営情報学専攻 (博士後期課程)	3	4	-	12	-	0.00	0.50	0.25	0.25	-	平成17	
大学院人文学研究科												
人文学専攻 (修士課程)	2	5	-	10	-	-	0.00	0.00	0.00	-	平成20	
大学院スポーツ健康学研究科												
スポーツ健康学専攻 (修士課程)	2	5	-	10	-	-	0.40	0.40	0.40	-	平成27	
大学全体	4	724	40	2932	-	-	-	-	-	-	-	
大学の名称	金沢学院短期大学										備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	入学定員超過率				平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	
					H29年度	H30年度	R元年度	R2年度				
	年	人	年次 人	人					倍			
幼児教育学科	2	50	-	100	-	-	0.68	0.48	0.58	-	平成30	
現代教養学科	2	50	-	100	-	-	0.88	0.90	0.89	-	平成28	
食物栄養学科	2	60	-	120	-	-	0.70	1.00	0.85	-	平成17	
大学全体	2	160	-	320	-	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

3 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成30年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年度)	・入学定員未充足の改善に努めること。(文学部教育学科)	指摘事項 (改善) 本学科を設置した平成30年度の定員充足率は0.49であったのに対し、平成31年度は0.89に大幅に改善している。今年度の学生募集活動において、近隣の高校に対して本学科の学修内容の周知を図り、入学定員確保に向けた学生募集に努めており、本学科のオープンキャンパスの参加者は平成30年度は103人だったのに対して、平成31年度は165人と62人増であった。(元)	履行済 履行済とした理由は、平成31年度の充足率は0.89倍、令和元年度は定員を30人減じたことと相俟って充足率は1.27倍となったためである。今後は定員管理に十分配慮することとしたい。(2)
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年度)	・定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。(人間健康学部健康栄養学科)	指摘事項 (改善) 教員組織編成の将来構想について、認可申請書における設置の趣旨に記載した通り、完成年度を迎える令和2年4月に主要な科目である公衆栄養学分野、給食経営管理分野、応用栄養学分野の教員を採用する計画としていたところである。一方、令和3年4月に人間健康学部健康栄養学科を廃止し、新たに栄養学部栄養学科を届出により設置する予定である。これらを両立する形で今後、段階的に、定年に関する規定を遵守することを第一に、上記分野の教員をいずれも40歳代から50歳代の教授又は准教授での任用を計画している。(2)	履行中 今後、任期満了あるいは定年等により60歳代の熟練教員が退職するに従い段階的に、定年に関する規定を遵守することを第一に、30～40歳代の准教授又は講師を採用する計画としている。また、年齢構成が偏らないような人員計画としていく予定である。(2)

<p>設置計画履行状況 調査時</p> <p>(令和2年度)</p>	<p>・定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。(文学部教育学科)</p>	<p>指摘事項 (改善)</p>	<p>学科の教員組織構成について、定年規程に定める専任教員の比率が高いが、新学科設置時には教育学に関する実績と経験を備えた教員が欠かせないことから、このような配置を行った。今後、この経験豊富な教員が30～40歳代の若手教員に教育学に関する知識や経験を伝え、完成年度を経て令和4年4月には、定年に関する規定を遵守することを第一に、30～40歳代の准教授、講師あるいは助教を採用することを計画している。また、年齢構成が偏らないような人員計画としていく予定である。(2)</p>	<p>履行中</p>	<p>履行状況に記載した経験豊富な60歳以上の教員が30～40歳代の若手教員に知識や経験を伝え、完成年度を経て令和4年4月には、定年に関する規定を遵守することを第一に、30～40歳代の准教授、講師あるいは助教を採用する計画としている。(2)</p>
<p>設置計画履行状況 調査時</p> <p>(令和2年度)</p>	<p>・入学定員未充足の改善に努めること。(文学部教育学科)</p>	<p>指摘事項 (改善)</p>	<p>本学科を設置した平成30年度の定員充足率は0.49であったのに対し、平成31年度は0.89に改善した。さらに、今年度は定員を100名より70名に減じたことで、定員充足率が1.27となり未充足は解消している。引き続き学生募集活動において、近隣の高校に対して本学科の学修内容の周知を図り、入学定員確保に向けた学生募集に努めていく。(2)</p>	<p>履行済</p>	<p>履行済とした理由は、平成31年度の充足率は0.89倍、令和元年度は定員を30人減じたことと相俟って充足率は1.27倍となったためである。今後は定員管理に十分配慮することとしたい。(2)</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。